

アグロ・イノベーション 2018

実施計画書

1. 開催趣旨

日々の生活に欠かすことの出来ない農作物を安定供給するためには、新しい設備の普及とそれに基づく体系的な農業生産、効率的で歩留まり率の高い加工・流通体系の整備など、各段階における課題解決はもとより、それらをつなぐサプライチェーンの効率化が求められている。

生産現場では、高度環境制御機器の導入による安定的な生産力向上やブランド化、マーケットインの視点を持った消費者に求められる農作物の生産、労働力不足による生産者負担を解決する効率的な農作物生産、加工・流通・販売にまで生産現場が主体的に参加する、生産現場を起点とする6次産業化など、新しいビジネスが展開されつつある。

流通・加工分野では歩留まり率の高い流通技術はもちろん、適正価格で消費者の求める品質の農作物を提供すること、安全・安心を担保する情報を含めた流通システムの構築、流通・加工を起点とする6次産業化など新しい動きがみられる。

また、近年では国内流通に留まらず、海外に販路を広げる農作物関係事業者が急増し、海外へのバリューチェーン拡大が課題となり始めている。さらには、生産拠点を海外に求める生産者・企業も現れ、今までになかった多くの課題が山積している。

このように、生産分野と流通・加工分野・販売分野から各課題の解決を図り、さらに各々分野の垣根を超える技術・システム・関連サービスを一堂に集め、農作物に関する事業者のイノベーションの一助となり「農業ビジネス」の進展を促すことを目的に、本展を開催する。

2. 名 称：アグロ・イノベーション 2018

構成展示会「アグリ生産資材展 2018」
「スマートアグリ技術展 2018」
「アグリ加工・流通展 2018」
「農作業負担軽減 EXPO 2018」
「VegeFruPack TOKYO 2018」
「土づくり EXPO 2018」
「集出荷場・選果場 EXPO 2018」
「アグロ分析・計測機器展 2018」
「アグリ・フードビジネス展 2018」

3. 会 期：2018年11月20日（火）～11月22日（木） 10:00～17:00

4. 会 場：東京ビッグサイト 西1・2ホール

5. 主 催：一般社団法人日本能率協会

6. 企画主体：アグロ・イノベーション実行委員会

7. 学術共催（申請予定）：全国農学系学部長会議、日本農学会

8. 後援：農林水産省、経済産業省、日本貿易振興機構（ジェトロ） ※順不同・申請予定

9. 協賛（申請予定）：関連 68 団体

一般社団法人園芸学会	公益社団法人園芸文化協会
株式会社海外需要開拓支援機構	一般社団法人 JFTD
一般社団法人食品需給研究センター	特定非営利活動法人食品流通高度化推進協議会
特定非営利活動法人植物工場研究会	植物工場普及振興会
一般社団法人新日本スーパーマーケット協会	生態工学会
公益財団法人全国学校農場協会	全国大学附属農場協議会
全国都市農業振興協議会	全国土壌改良資材協議会
一般社団法人全国トマト工業会	一般社団法人全国農業会議所
一般社団法人全国農業改良普及支援協会	全国農業協同組合中央会
全国農業協同組合連合会	全国農業高等学校長協会
全国農業資材商業会	全国野菜園芸技術研究会
特定非営利活動法人日本プロ農業総合支援機構	一般社団法人日中科学技術文化センター
日本園芸農業協同組合連合会	一般社団法人日本花き卸売市場協会
一般社団法人日本花き生産協会	一般社団法人日本果樹種苗協会
一般財団法人日本 GAP 協会	日本国際貿易促進協会
一般社団法人日本自動認識システム協会	一般社団法人日本種苗協会
一般社団法人日本食品機械工業会	一般社団法人日本食品保蔵科学会
一般社団法人日本植物工場産業協会	一般社団法人日本スーパーマーケット協会
日本生活協同組合連合会	株式会社日本政策金融公庫
日本生物環境工学会	一般社団法人日本惣菜協会
一般社団法人日本包装機械工業会	一般社団法人日本ドゥ・イット・ユアセルフ協会
一般社団法人日本農業機械工業会	日本農業気象学会
公益社団法人日本農業法人協会	公益社団法人日本農芸化学会
一般財団法人日本花普及センター	日本ビニル工業会
公益社団法人日本包装技術協会	日本フードシステム学会
一般社団法人日本フランチャイズチェーン協会	一般社団法人日本ボランタリーチェーン協会
一般社団法人日本有機資源協会	日本養液栽培研究会
一般財団法人日本緑化センター	公益社団法人日本冷凍空調学会
農業施設学会	農業情報学会
国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構	農業食料工学会
一般社団法人農業電化協会	一般社団法人農山漁村文化協会
農産物流通技術研究会	公益財団法人農民教育協会
農業工業会	株式会社農林漁業成長産業化支援機構
公益社団法人農林水産・食品産業技術振興協会	一般財団法人流通システム開発センター

10. 展示予定規模：100 社・団体／120 ブース（予定）

11. 来場登録者数：12,000 名（予定 ※同時開催展含）

12. 来場対象者：

- | | | |
|----------|-------------|---------------------|
| ・農業経営者 | ・農業生産者 | ・農業団体 |
| ・農業関連団体 | ・農業関連商社・卸 | ・農業参入を企図する法人 |
| ・青果物商社・卸 | ・物流会社（青果担当） | ・小売 |
| ・外食・中食 | ・出荷団体 | ・食品メーカー |
| ・農業関連研究所 | ・教育機関 | ・官公庁・団体・地方自治体
など |

13. 入場登録料：無料（登録制）

14. 出展料金

①屋内ブース 間口 2.97m×奥行 2.97m×高さ 2.7m

・アグロ・イノベーション 2018（農業参入受入自治体コーナーは除く）

分類	申込期限	ブース単価 (税抜)	消費税	ブース単価 (税込)
主催団体会員	早期	¥330,000	¥26,400	¥356,400
	通常	¥350,000	¥28,000	¥378,000
協賛団体会員	早期	¥340,000	¥27,200	¥367,200
	通常	¥360,000	¥28,800	¥388,800
会員外	早期	¥380,000	¥30,400	¥410,400
	通常	¥400,000	¥32,000	¥432,000

②農業参入受入自治体コーナー

分類	ブース単価 (税抜)	消費税	ブース単価 (税込)
農業参入受入 自治体コーナー	¥270,000	¥21,600	¥291,600

※農業参入受入自治体コーナーには早期申込出展料金は適用されません。

③ミニブース 間口 1.98m×奥行 1.98m×高さ 2.7m（アグリ・フードビジネス展専用）

分類	ブース単価 (税抜)	消費税	ブース単価 (税込)
ミニブース	¥180,000	¥14,400	¥194,400

※ミニブースには早期申込出展料金は適用されません。

15. 構成展示会概要と展示対象

①アグリ生産資材展 2018

概 要：農作物の生産、収穫における技術・サービスが一堂に会する専門展示会

展示対象：農業資材・設備、農業機械、植物工場・施設園芸関連、農業支援コンサルティング、エネルギー、鳥虫獣害対策、作業衣料、農業参入受入自治体 など

②スマートアグリ技術展 2018

概 要：農作物の生産、収穫、選果、加工における労働負担軽減策を提案する専門展示会

展示対象：農業 ICT、農業 IoT、AI、農業ロボット技術、ドローン、環境制御装置、GPS 車両ナビゲーションシステム、アシストスーツ など

③アグリ加工・流通展 2018

概 要：農作物の加工、流通、販売における技術・サービスが一堂に会する専門展示会

展示対象：食品加工・乾燥機、流通加工、鮮度管理・品質保持機械、輸送資機材・サービス、保管・収納、取引、GAP 認証コンサルティング など

④農作業負担軽減 EXPO 2018

概 要：生産者の作業負担を軽減する製品・サービスが一堂に会する専門展示会

展示対象：負担軽減ツール、農具、農作業着、暑さ・寒さ対策用品、断熱・遮熱素材、疲労回復機器・食品・飲料 など

⑤VegeFruPackTOKYO 2018

概 要：農作物の包装資材・容器・機械が一堂に会する専門展示会

展示対象：包装機械、鮮度保持フィルム・袋、食品容器・パック・トレー、ダンボール箱、化粧箱、緩衝材、ラベル印刷機、パッケージデザイン など

⑥土づくり EXPO 2018

概 要：健康な土づくりと元気な作物の育成を支援する製品・技術・サービスが一堂に会する専門展示会

展示対象：土壌改良剤・消毒剤、有機・無機肥料、液肥、腐葉土、除草剤、ニーム、土壌診断・分析機器 など

⑦集出荷場・選果場 EXPO 2018

概 要：農作物の荷受、洗浄、選果、梱包、出荷に使用する設備・機器・システムが一堂に会する専門展示会

展示対象：選果・選別機、糖度・酸度計測器、洗浄剤・洗浄機、貯蔵技術・設備、箱詰め・梱包機械、搬送設備・機器 など

⑧アグロ分析・計測機器展 2018

概 要：農作物の生産、収穫、選果、販売における分析・計測機器が一堂に会する専門展示会

展示対象：生産環境分析・計測機器、農作物分析・計測機器、ラボ用分析・計測機器 など

⑨アグリ・フードビジネス展 2018

概 要：農作物、農産加工品が一堂に会する専門展示会

展示対象：農作物、農産加工品 など

以上